

〔「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標例（学年ごとの目標設定の場合）〕

〔年間指導計画例〕（高等学校の場合）

【第1学年】	
聞くこと	～することができる
	～することができる
	～することができる
話すこと	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話すことができる
	～することができる
	～することができる
読むこと	つながりを示す語句に注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる
	～することができる
	～することができる
書くこと	～することができる
	～することができる
	～することができる

※評価の観点のうち、「関心・意欲・態度」及び「言語や文化についての知識・理解」に対応する「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標は設定しない。

※「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（「～することができる」）と対応する単元の目標（「～する」）は、同一になる場合もあれば、異なる場合もある。

○「コミュニケーション英語Ⅰ」

単元	教材	単元の目標	単元の評価規準	ねらい, 学習活動, 指導上の留意	評価方法
1		<b>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</b>			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	(省略)	活動の観察
		<b>【外国語表現の能力】</b>			
		・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について話す	・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について話すことができる。	(省略)	インタビューテスト（後日）
		<b>【外国語理解の能力】</b>			
		・この単元では設定しない。	この単元では評価しない。		
		<b>【言語や文化についての知識・理解】</b>			
		・自分の考えや気持ちを伝える表現（hope [that] S'+V'～など）の使い方を理解する	自分の考えや気持ちを伝える表現（hope [that] S'+V'～など）の使い方を理解している。	(省略)	定期考査（後日）
2		<b>【外国語理解の能力】</b>			
		・日米の文化に関する説明文について、つながりを示す語句の後にくる内容を推測しながら読み進める	日米の文化に関する説明文について、つながりを示す語句の後にくる内容を推測しながら読み進めることができる。	(省略)	定期考査（後日）
3					

※評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 外国語）より。